

令和6年度 品川区総合戦略推進委員会
議事概要

日時：令和7年2月27日（木）16:00～17:00

場所：品川区役所 本庁舎5階 第五委員会室

<議事次第>

1. 開会
2. 委員紹介
3. 委員長挨拶

■委員長

- ・今回の資料を確認すると、コロナの影響が薄れてきたことが分かるデータが出てきている印象。
- ・区政の動きが、数字を通じて把握できるところもあるので、そういうところを見ながら状況を確認していきたい。
- ・また、今回は次期総合戦略について、今後の区の状況等を考えながらご意見をいただけたらと思う。
- ・検討事項が多く大変だがよろしく願います。

4. 委員会運営について

- * 事務局より、資料3（品川区総合戦略推進委員会公開基準）について説明。

■委員長

- ・本委員会の公開基準および傍聴に関する取扱要領について説明があった。この基準により会議を運営することに異議はないか。

■委員

- ・異議なし

5. 品川区総合戦略の取組状況について

- * 事務局より、資料4（品川区総合戦略の取組状況について）について説明。

■委員長

- ・令和5年度の取り組みについて評価を行っていく。説明内容、配付資料について、質問、意見等があればご発言いただきたい。

■委員

- ・行政としては合計特殊出生率が今後どのように推移していくかすごく重要なことだと思う。

- ・調べると23区全体の平均では令和4年から令和5年にかけて1.04から0.99と0.05低下している。
- ・品川区は1.11から1.02と0.09低下しており、他区の平均を上回って低下しているところが気になる。
- ・合計特殊出生率の低下について、何に影響を受けているのか、どのあたりをテコ入れしていくべきなのか、どのあたりを伸ばしていくべきなのか、そういった視点が重要。
- ・AIを活用して調べてみると、品川区がよいところとして、交通アクセス、治安、生活の利便性、将来の資産価値等において高い評価を得ていた。一方で課題となるが家賃が高いという点や自然環境というところ。海辺があるのでその辺をどのように活かしていくか。また、行政サービス、教育、コミュニティのところでは、23区に中間レベルとのこと。
- ・このあたりをどのようにテコ入れするかという視点で資料を拝見していたところ、外国人がたくさん訪れていることが気になった。外国人住民・旅行者をうまくその教育・コミュニティなどにつなげて弱みを強みに変えられると良い。外国に入ってきてくれると経済的にも良い影響がある。
- ・一方で、オーバーツーリズムみたいなことになると、差別・偏見みたいなことが出てくる可能性もある。外国人住民・旅行者への対応を今後どのように進めていくかは、品川区にとって重要だと思う。
- ・もう1つは、全体を通して、ここはもう少し力を入れた方がよい部分を指標として示せると良い。Net Promoter Score（ネット・プロモーター・スコア）という顧客ロイヤルティを測る指標を民間企業等が世界規模で行っている。こういった仕組みを通じて事業間の比較などができると良い。

■事務局

- ・合計特殊出生率のご指摘のとおり年々下がってきており、それをどう捉えるかというのは区としても考えなくてはならないところ。
- ・出生数が下がっているのは确实だが、それ以上に単身の若年層の方の流入が多い。就職・進学で結婚されていない方が転入すると、どうしても分母が増えるため合計特殊出生率が低く算出されることとなる。そこをどのように分析をして、施策に反映させるかというところは考えていかなければならない。
- ・家賃の住宅事情は大きな課題と認識している。人口動態を分析すると、在宅勤務が進んだこともあり、ファミリー世帯が近隣の埼玉県や神奈川県に転出するケースが多くなっており、対応を区として考えていかなければならない。
- ・外国人についても、区として多文化共生に向けた取り組みを進めているところだが、外国人住民の数がコロナ禍以前の水準よりも上回っており、外国人の方への

地域のさらなる理解促進というものが重要だと認識している。

- ・指標については、直接的な回答にはならないかもしれないが、デジタル庁が全国的に幸福度調査というものを実施しており、住民の満足度などを比較できるため、そのあたりをどう示せるか考えているところである。区としての強さ・弱さを区民に理解いただきながら、施策を考えていきたい。

■委員

- ・外国人旅行者は外国のサイトで検索かけて、宿泊先などを検討していると聞く。影響力が大きいようなので、区の宿泊施設がどの程度掲載されているか調べてもと良いと思う。

■委員

- ・目標に至っていない指標もいくつかあるが、令和4年度から令和5年度の対前年度比較で見ると改善されているものが多い。
- ・コロナが5類に移行して人流が動き始めたというところはもちろんあると思うが、いろいろな取り組みがいい方に動いているという印象がある。

■委員長

- ・コロナの影響が抜けてきている部分はあるが、それ以上に品川というコミュニティの性質が変わりつつあるのかもしれない。
- ・外国人や子育て世代ではない若い人の流入が多く、逆に子育て世帯が住むことが難しくなっていて、しかもそれが施策の良し悪しではなく、マクロの経済要因などもっと別の要因でそうなっているような印象。
- ・「質の高い保育・乳幼児教育の提供」を見ると利用者満足度は高くなっているが、これは住宅価格に対する満足度にはあまり影響しないと思われる（寄与度が少ない）。住宅価格が上がってしまうと政策に対する満足度、政策が住民に与える寄与度が上がりにくくなる。
- ・その観点では、「中小企業の事業承継支援」も同様かもしれない。目標値を下回っているが、これだけ東京の地価が上がってくると、事業承継のやり方が難しいというよりは、そもそも小さい企業が事業を続けていくことがとても難しい環境条件になってしまう。そうすると目標値をどうしたら良いか考えなくてはならないかもしれない。
- ・宿泊についても同様。外国人旅行者が増えている中、インクルージョン・ダイバーシティと都市としてのコミュニティの維持をどのように両立させていくか。これからは広告を打ってどんどん人を呼び込もうという過去のアプローチとは異なる計画が必要になる。
- ・全体的に各施策の実績数値に関しては良くなっているが、品川という街の性格が変わってきているので、それをどのように捉えるかが課題。

■委員

- ・「空き家等適正管理の促進」について、空き家が増える一方で住宅価格が高くなっている。安全性を担保した上で空き家をリノベーションし、低価格の住居を提供できたら良い。
- ・特に今後外国人が増加して、例えば不当に居住するケースなどが生じると、マイナスなイメージが広がる。国際都市として外国人とともに住んで、ともに教育を受けられるなど、プラスの方向に進めていただきたい。今がその分岐点にいるような気がする。

■事務局

- ・空き家の利活用は課題が多いが、法改正に伴い所有者の意識も変わってきている。
- ・来年度、東京都では子育て世帯に安価な住宅を提供する取り組みを進めるとのこと。区も使える空き家をどのように活用するのか引き続き考えていきたい。

■委員

- ・品川区では駅周辺やホテルなどでは外国人を多く見かける。一方で街や電車の中などではそこまで見かけない印象。外国人居住者は増えているのか。

■事務局

- ・令和6年4月時点で約1万6千人である。コロナ禍で令和4年には約1万2千人まで減少したが、令和5年、令和6年とだいぶ増えている。

■委員

- ・犯罪率は上がっているのか。

■事務局

- ・区内の刑法犯認知件数は、令和4年度から令和5年度にかけて増えている。

■委員

- ・治安が悪いという印象を持たれると良くない。品川に住んでいると安全だと認識されることは重要。

■事務局

- ・刑法犯認知件数の内訳としては、自転車窃盗が82件増えており、窃盗や万引きなどは減っている。取り締まりを強化したために増えたという面もあるかもしれない。

■委員長

- ・区内を歩き回っているが、スラム化しているような状況は見えない。空き家の課題はあるが、再開発も進んでおり、都市としてはリニューアルされている印象。
- ・そういった意味では今後は都市型の犯罪が増えてくるのではないか。街の性格の変化を捉えることが重要。

6. 次期総合戦略について

* 事務局より、資料5（次期総合戦略について）について説明。

■委員

- ・計画期間が令和11年までの5か年ということだが、5年後は今の状況からは大きく変化が生じているだろう。
- ・計画は各課のヒアリングを通じて作成しているのか。

■事務局

- ・実施計画の改定を同時に進めており、所管課とのヒアリングや各課の提案を受けながら検討している。

■委員

- ・行政内部のDX化に係る施策も取り入れるのか。

■事務局

- ・総合戦略の中には掲げる予定ではないが、現在改定作業を行っている実施計画では区政運営という柱の中で、行政のDX推進に係る計画事業を掲げている。

■委員

- ・行政と住民のコミュニケーションはとても重要。外国人や障害者とのコミュニケーションにあたっては、新しい技術をどんどん活用すべき。
- ・デジタル分野においては専門家のサポートが重要であり、コンサルなどを通じて利便性向上を図るべき。

■事務局

- ・区では民間企業出身の専門的な知識を持つ職員をDX戦略担当課長として採用している。

■委員

- ・本日の議論の中で、増加する外国人住民・旅行者への対応などの話が出ていたので、基本目標3「国際化への対応をさらに進めつつ、多様な地域との交流・連携を推進し、ともに発展する」について充実できると良い。

■委員

- ・外国人向けの施策を検討する際は、大使館などの外国人の方にも検討メンバーと入ってもらえると良い。
- ・町会・自治会、商店街など、地域活性化に資する地域コミュニティに向けた施策についてもテコ入れが必要。高齢化が進んでおり、円滑な世代交代が求められる。

7. その他

■事務局

- ・本日の会議資料については、ホームページに掲載する。

- ・議事概要案を作成の上、後日、各委員の皆様にご確認いただいた上で、ホームページに掲載する。

8. 閉会

■委員長

- ・以上をもって本日の委員会を終了する。

—以 上—